

原水爆禁止 2009 年世界大会 - 長崎決議

長崎からのよびかけ

「長崎を最後の被爆地に」「核兵器をなくせ」 被爆者は、苦しみのなかで、世界に訴えつづけました。その声は世界の圧倒的な世論となり、国際政治を動かしています。

アメリカのオバマ大統領が「核兵器のない世界の平和と安全を追求する」と宣言し、新たな展望が開かれました。

いまこそ行動のときです。被爆者とともに、核兵器廃絶を求める声を世界に広げてきた日本の原水爆禁止運動が、その力を発揮するときです。

日本政府は、被爆国でありながら、アメリカの「核の傘」にあくまで固執し、核兵器廃絶の実現にも消極的態度をとりつづけています。「核密約」で核兵器持ち込みを容認し、「非核 3 原則」を裏切ってきたことも隠し通すつもりです。

核兵器のない世界にむけ、被爆国としての責任を果たす日本、非核平和の日本を、なんとしてもつくりだしましょう。

被爆国の私たち一人ひとりが、核兵器の廃絶を求める圧倒的な世論と運動を巻き起こすことを決意し、以下の行動にとりくむようよびかけます。

核不拡散条約(NPT)再検討会議で、核保有国をはじめ、すべての政府が核兵器全面禁止・廃絶条約の締結への一步を踏み出すよう強く求めましょう。

世界の先頭に立ち、「核兵器のない世界を」国際署名を地域、職場、学園でいっそう大きく広げましょう。広範な人びとと共同し、1200 万筆の目標を達成しましょう。

来年 5 月のニューヨーク大行動に全国各地から代表を送り、NPT 再検討会議に日本と世界の人びとの願いをこめた署名を積み上げましょう。

核兵器廃絶と「非核 3 原則」の厳守を政府に迫る「非核日本宣言」の運動を、全国各地でさらに広げましょう。「核密約」の公表・破棄、「核の傘」からの離脱をかちとりましょう。

米軍基地再編強化や自衛隊海外派兵に反対し、憲法 9 条を守り生かす運動をいっそう広げましょう。米軍への「思いやり予算」や軍事費の削減、いのち・くらし・雇用を守る運動を強めましょう。

被爆者がいのちがけでたたかってきた原爆症認定集団訴訟は、ついに政府を追いつめて、

解決への道筋を示す確認書の合意に至りました。訴訟の全面解決と被爆実態に見合った認定行政への転換を確実に実行させましょう。

被爆者の願いを継承・発信し、被爆の実相をつぎの世代と世界に伝える証言活動や原爆展に、全国各地でとりくみましょう。

青年たちの創意とエネルギーにあふれる行動は、未来への希望です。核兵器のない世界の扉を開くため、被爆者とともに、若い世代とともに、いまこそ声を合わせましょう。

ノーモア・ヒロシマ！ ノーモア・ナガサキ！ ノーモア・ヒバクシャ！

2009年8月9日

原水爆禁止2009年世界大会 - 長崎